

ジャパンマニュアルアワード2019  
紙マニュアルの評価表

評価結果:

--

必要情報	情報のわかりやすさ	情報の探しやすさ	取り扱いやすさ

■必要情報

IEC82079ベースに日本のマニュアルの実情に合わせた評価

--	--	--	--

評価の項目	
使い方 How to Use	ユーザーにとって必要となる最低限の情報
リスク回避性 Freedom from risk	リスク分析を元にしたリスク軽減の情報

■表現 情報のわかりやすさ

製品を使用して目的を実現するイメージが作られ以降の操作説明と結びつくこと

--	--	--	--

評価の項目	評価の意図	
時系列の表現 わかりやすくする仕掛け	製品を使うための概念的 理解	製品の使用を概念的に理解する、時間的または空間的な全体性が説明されているか。
		製品の概要が説明されているか。
		本体、付属品、消耗品が書き分けられているか。
	ターゲットの一貫性	コンテキストが一貫しているか、読者と共有されているか。
	理解の手がかり	読者のメンタルモデルやスキーマに則した説明ができていないか。
	製品に合わせた固有 の問題の解決	製品の完成度や社会の認知度によって必要な情報は変化する。フラットに情報を提供すれば良いもの、その製品の固有のわかりにくさ(複雑な操作・新機能など)についての情報を提供するものと説明に配慮があるか。
	非常時の操作	トラブルや緊急時の停止、中断、修正、復帰、直前の操作に戻るなどの方法が説明されているか。
	操作ミスからの回復。	
Q&A、トラブルシュー ティングなどはあるか (必要に応じて)	想定される疑問やトラブルを解決するための情報があるか。また解決まで導かれているか。	
空間的な表現 表現素材の完成度 可読性(Readability)、 判読性(Legibility)、 視認性(Visibility)	バランスと統一	説明を構成する表現素材の組み合わせとバランスの統一感、一体感。
	レイアウト	各表現素材を適切に使いながら「わかる」紙面構成が実現されているか。
	テキスト	本文として適切なフォントとサイズ、正しい用語、適切な長さで文法でテキストが作成されているか。
	グラフィック	写真、イラスト、線画、3Dなど説明に適切なグラフィックが選ばれ、サイズなど適切に使われているか。

### ■表現 情報の探しやすさ

ひとつのコンテンツで探すという行為をスキャンと検索の観点からの評価  
 (コンテンツ自体の存在や複数のコンテンツをまたいで探す行為は「■表現 取り扱いやすさ」  
 で評価)

配点1～XX、基準点XX	評価点を記入
--------------	--------

分類	評価の項目	評価の意図
スキャン Scan ページをパラパラめく りながら探す	スキャン機能の度合	情報量に見合うスキャン機能があるか、探しやすい工夫(意匠)があるか。
	見出し	表示したときに目的のページと、一目で認識できるかが問われる。
	ツメ	いまだこのページを見ているか認識できるかが問われる。
	柱	
	ノンブル	
	ページ	
検索 Search 目次や索引を使って探 す	検索機能の度合	情報量に見合う検索機能があるか、探しやすい工夫(意匠)があるか。
	目次(冊子タイトルを 含む)	項目と本文が一致していること。 適切な項目名が適切な順番で並び、全体が俯瞰できて、必要な項目を絞り込めるかが問われる。 項目名と本文が正しく連結され、項目間同士で明確に区分が成り立っているか。
	索引	目次と別な引き方ができること。

### ■表現 取り扱いやすさ

印刷・製本を含む設計と意匠の評価

配点1～XX、基準点XX	評価点を記入
--------------	--------

評価の項目	評価の意図
取り扱いやすさの実現 度合	シートまたは冊子の品質と構成が、提供すべき情報と合致しているか。
情報の構成	マニュアルとして妥当な構成になっているか。
シートまたは冊子の構 成	紙の品質・製本によって、ストレスなく扱えるか。
親和性・一体感	製品との一体感を評価する。 新規性の高い製品には、製品と同じくして新規性の高い提供手段を選ぶ場合と、信頼性の高い提供手段を選ぶ場合がある。これはターゲットと技術の安定性による。信頼性と新規性はトレードオフである場合が多い。
安心感・信頼性	
新規性	